

事業推進の心 仮設労働安全新生プラン

**陽のあたる安全文化の創造**

もうよゆう ヒューマンエラーの他人事 前こう 後げやう 夢ぞやう  
 夢ぞやう ヒューマンエラーの他人事 前こう 後げやう 夢ぞやう  
 夢ぞやう ヒューマンエラーの他人事 前こう 後げやう 夢ぞやう

**ACCESS新聞**

Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

Vol.92

編集・発行人 藤田伸夫  
 発行所 全国建設安全事業協同組合本部  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18(日本橋SKビル5F)

シリーズ建設関係部長に聞く⑩ **【群馬県】**



群馬県土木整備部長 川瀬 弘之氏

上原 昨年9月に現職に就任されましたが、その後群馬県は台風9号の直撃を受け、県西部を中心に甚大な被害が出ました。川瀬 はい。就任早々の対応に追われることになりましたが、災害時のライフライン確保など、今後の県がこれによって物流・観光が、取捨選択という方

**「安全・安心」の理念で公共事業推進**

上原 当組合では、「見えがら労働災害が多い業種」を確保していくには、どうやら安全文化の醸成から足場の安全・安心は点検文化の醸成から

**河川行政は国民の安全・安心の確保**

国土交通省河川局長 甲村 謙友氏

小野 甲村河川局長とは、2年前の中国地方整備局長時代にこの話をさせていた。甲村 謙友氏

**足場の安全・安心は点検文化の醸成から**

足場点検者の育成に全面協力

小野 辰雄

足場の安全・安心は点検文化の醸成から

**屋根足場のJIS制定**

原案作成はACCESSが担当

日本工業標準調査会は、「屋根足場のJIS」原案を審議、答申しました。3月25日、同原案はJISA8971として官報に告示されました。原案作成は、当組合が担当しました。

**読者の声**

日本の建設現場は、自国に比べて高いと言われますが、実際はそうではありません。安全文化の醸成から足場の安全・安心は点検文化の醸成から

**温暖化 今後100年間で59センチの海面上昇と長期渇水**

政府の中央防災会議が、利根川の堤防決壊によって関東地区では死者が8300人になるとの被害想定をまとめた。河川に対する関心が高まっています。1月17日付で就任した国土交通省の甲村謙友河川局長は、国民の安全・安心の観点から地球温暖化防止対策が重要で、河川と国土建設安全事業協同組合の安全対策におけるハード・ソフトの整備については、ベクトルは同じであると話しています。組合の小野辰雄理事長が国土交通省を訪れ、甲村局長と環境や安全などの問題について対談しました。

**河川の国土整備費は60倍の効果にも**

甲村 既に温暖化の影響は深刻な影響を及ぼすおそれがあります。被害を最小限に抑えるために、何か対策を講じることが必要ではないでしょうか。甲村 そうです。今から100年後の海面上昇は、1メートルから1.5メートルに達するおそれがあります。国土交通省は、河川の国土整備費は60倍の効果にも

**安全点検の徹底訴える**

小野理事長を講師にBSKが講演会

小野理事長は、昨年11月に大阪府箕面市で開いた「安全点検の徹底訴える」講演会に出席し、足場の安全点検の重要性を訴えました。